

◎院長より

不思議なことがあるもんですね。

最近、自分の行いを顧みて、地元の方々へ自分ができる無理のないところの支援を始めています。この前は、終の棲家を求めていらっしゃる方々との接点がありました。自分を主張せず、相手の方を受け入れようとする気持ちが大切と感じました。つぎは「おやこDE広場みのり台」。住民参加型カフェです。会社を退職された人生の経験者たちが、行政の力を借りず、困った人たちの相談に乗る、という昔にあったような助け合いの精神です。又つい先日地元のお寺でひらかれた「お月見の会」に参加しました。実は松戸市国際交流協会からのお誘いでした。ところがなんと、地域で何十年も活動されていた人々、実は私がどうしてもつながりを持ちたかった方々にお会いできました。そこには無条件で、地域での外国人・障害者・弱い立場の方々と何気なく共有・共生を気軽に行える社会をつくろうとする雰囲気がありました。私の、心の中で、くすぶりつづけてきた思いです。とても気分がすっきり致しました。

* 今月の言葉 ステーヴィング・ホーキング氏

今の仕事を好きになれないのでは、違う仕事に就いても好きになれない。仕事に一生懸命になれないのでは、違う仕事でも一生懸命になれない。今の仕事を好きになって一生懸命やったとき、次なる道が見えてくるものだ。そもそも天職はなるものじゃない、気がついたらなっているものだ。

●院長から

①病気は一緒に治しましょう。病気の半分は、ご自分で改善することができます。いかなる病気においてもです。病気は、急に出るものではありません。院長が長年の重病疾患と付き合い続けてきての思いです。

②外来では、患者さんに時間がなくても、ご自分のことです。少しは一緒に話をしましょう。そうすると、奇跡がおきる時があります。医者の間でも常識と言われている考えが、覆されることは、少なくともありません、当院でも。とくにネガティブな常識に注意しましょう。

③ペインクリニックについて：最近、各種神経ブロックの患者さんが増えていきます。硬膜外神経ブロック、星状神経節ブロック、仙骨硬膜外ブロックが多く、その効果も出ています。言いたいこと：胸部・顔面・腹部の帯状疱疹後の神経痛がまだまだ数がおおく、当院に来られる方は、いま、むしろ1か月以上時間がたったあと当院をたずねられる方がまた多いのです。より重症と思われる帯状疱疹は、3日以内に神経ブロックをおこなうと、きれいに治る確率が高いのです。

④乳がんの診断は乳腺用デジタル超音波検査とエラストグラフィーが有効です。がんの疑いが強ければ64列CTで3方向の断面画像を作ります。

⑤胃カメラは経鼻的内視鏡を使っていますが、画像は鮮明で粘膜の絨毛まで描出できます。

⑥神経ブロックや、小手術、入院が必要とされる重症の患者さん、大病のみつかった患者さんの説明には 時間をいただくことも多く、待合室で長くお待たせしてしまうケースがあります。このときはできるだけお知らせするように致しますので、ご容赦を。

⑦体重の減らし方：半年で30kgも無理して減らしてはいけません、発がんの危険性がたかまります。なにか体内の脂肪細胞の情報発信が破綻するのでしょうか、最多で2kg/月ずつ減らすのです。

⑧当院に糖尿病の患者さんの占める割合が増えてきました。素晴らしくコントロールのよい人と、なかなかのひとと、分かれてきました。もう少し具体的に、よりよい治療の仕方を探ってゆきます。インシュリン注射薬の変更、経口薬の切り替えとももちろん、「自分で考え、少し研究していただき、計画をして、ともに実行してゆく」。人任せにしないで。運動もご自分に必要な治療と認識して行いましょう。

●院長の仕事（9月）

- | | |
|------------------------------------|---------|
| 09/（土）終活の参加者の方々と、 | みのり台 |
| 19/（火）松戸市医師会定例理事会 監事として出席 | 衛生会館 |
| 21/（木）ルーマニアオリンピック委員会をむかえて | 松戸商工会議所 |
| 25/（月）松戸市夜間小児急病センター20時から23時まで、市立病院 | |